

通信業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	配達作業中、配達先へ配達を終え、バイクに戻ろうと凍結している砂利道を歩いていた所、左足を滑らせ地面の凹凸に引っかけて捻り、転倒して左足首を負傷した。	40～99	500
1	15～16	ポストの投函後、バイクに戻り下り坂側へUターンしようとしたとき、バランスを崩し右側へ転倒し、右肩を強打した。	50～99	50～99
1	20～21	休憩時間中に女子ロッカーにて、すのこ板につまずき転倒し両手と両膝に軽い痛みが内出血を負った	51～99	500
1	11～12	配達物の区分作業に従事していて、両手で配達物を抱えた状態で、押印机から区分棚へ移動中に、ケースカートに足がつまずき、体勢を崩して、区分棚の角に背中を強打し怪我をした。	60～99	500
1	10～11	局舎内2階から1階への移動中、階段途中にある踊り場から、1階まで降りる際に、貧血と思われるめまいを発症したためふらつき、つまずいたため転倒し、階段の一番下まで転がり落ち、頭部右側を階段下の床（カーペット・足拭マット敷き）に強打・受傷した。	40～99	100
1	14～15	荷物が積まれたパレットを運ぶため、左手で灰色パレット（鉄製V型）の左端を掴み、引き出そうとしたとき、パレットを掴んでいた手を滑らせて、尻もちをつくような体勢で後ろに倒れた。その際に両手を床についてしまい、痛みが生じ、左手首骨にヒビ・右手打撲を負った。	62～99	500
1	12～13	自転車で配達中、左側から自転車に乗ろうと右足を上げたところバランスを崩し転倒した。転倒時に右足で自分の左足甲を踏み、骨折した。	52～99	500

				999
1	17～18	業務用自動二輪車で一方通行を運転中（直進信号は青）、左側に小学生がキックボードで走行していた。小学生が急に反対側へきたので、とっさに回避し接触はしなかったが、バランスを崩して右側に転倒し、右橈骨遠位端骨折を負った。なお、警察立会いのもと、相手側と接触していないことを確認した。	39	300～499
1	11～12	110ccの二輪車で配達先へ向かう途中で、圧雪の上に新雪が積もった状態の道路を時速10～15kmで直進していた。直進中に前輪がスリップしバランスを崩して右側へ二輪車ごと転倒し、その際、元々痛めていた右足が地面と二輪車に挟まれ負傷した。	54	100～299
1	18～19	配達をしようと、配達先の家の前にバイクを止め、玄関先まで行こうと、敷地前方に張ってあるロープを跨いだ際に、右足を引っ掛けバランスを崩し、先に着地していた左足を捻って転倒し負傷した。	41	100～299
1	6～7	業務に必要な新聞を取りに行くため、工事中の社屋駐車場を通りポストに向かう途中、地面がでこぼこになっている箇所にひっかかり転倒し、両手挫創・両膝挫傷・左膝挫創・顔面挫傷を負った。	28	50～99
1	7～8	自宅から会社まで原付で向かう途中、会社の車庫前にあった水たまりが凍結し、その上を走行したとき、前ブレーキをかけたところ前輪がスリップし、バランスを崩して転倒し、左鎖骨を骨折した。	22	50～99
1	14～15	配達する際、入り口付近でつまずき転倒し、左手小指をコンクリート面に強打し裂傷を負った。	55	100～299
1	19～20	窓口で引き受けた際、お客さまに控えを渡し忘れたため、走って追いかけたところ、駐車場の車止めに躓き、転倒して怪我をした。	48	100～299
1	9～10	配達を終え、配達先玄関から車両に戻ろうと配達先敷地内を歩行していたところ、凍結した路面で足が滑り、転倒し負傷した。通常はスニーカー等の運動靴着用している。	41	500～999

1	18~ 19	敷地内でゴミ箱を両手に抱えて、駐車場に向かって歩き始めたところ、足元の門の止め金に気付かず、右足でつまずき前のめりに転倒した。	64	300 ~ 499
1	9~ 10	被災者は、事務室コールセンターエリア内で電話受付業務に従事中、椅子から立ち上がり左側社員Aの後方を移動していたところ、Aが座っている椅子の脚に右足をひっかけ左肩から転倒し、左肩及び頸椎を負傷した。	61	500 ~ 999
2	14~15	社会福祉施設への配達を終えバイクで発進した直後、路面がアイスバーンになっていることに気づかずスリップし、バイクごと転倒した。その際、路面に右肩を強打した。	53	10~ 29
2	14~15	被災者は、個人宅へ配達をしようと、道路にバイクを停車し、配達箇所へ歩いて向かう途中、少し傾斜になっているところで足を滑らせ転倒した。	24	300 ~ 499
2	11~12	配達を終え、バイクに戻り発進しながらUターンをしようとした際、凍結した路面に後タイヤを取られてスリップし転倒した。とっさに庇おうとして右手を地面についたところ、ちょうどそこに倒れて来たバイクのハンドルグリップの端が落ちてきて道路とハンドルグリップに右手環指が挟まれる形となり裂傷を負った。	43	100 ~ 299
2	11~12	配達作業をしていてバイク左側から乗ろうとした際、右足をサドルに引っ掛けてバランスを崩し、凍結路面だったため、踏ん張りきれずバイク右側にうつ伏せに倒れ、右足ふくらはぎの上にキャリーボックスが倒れてきた。	58	100 ~ 299
2	10~11	自動二輪車で配達中、自動二輪車を降りて配達先へ向かう途中、当時吹雪いており、凍結路面の上に新雪が1~2cm積もっていた。前夜強い雨が降り、当日の朝、凍結していた事は本人も把握していた為、自動二輪車を滑らない所に停めた。自動二輪車を降りて2~3歩歩いたところ凍結していなかった為、配達物が飛ばされないよう、小走りした際、凍結している所で転倒し、負傷したものである。	44	300 ~ 499
2	13~14	山間部にあるお宅へ配達物を徒歩で配達し、次の配達先へ向かおうと石段を上り始めたところ、右足を滑らせ、足首を捻って負傷した。（石段に浮石有）	63	50~ 99
		配達物を持って配達先に向かっている途中、道路に左足がつまずいて転倒した。		100

2	15~16	転倒した時、右足を捻り、右膝を負傷した。	52	~ 299
2	12~13	配達先のマンションで配達を終えて階段を下っている時地面に足を着いた際に右足首を外側へひねってしまい右足甲を剥離骨折した。	42	300 ~ 499
2	15~16	配達途中でバイクを止めアパート2階への配達終了後、階段を下り、小走りでバイクに戻る途中で石につまずき勢いよく転倒した際に両足膝、頭を強打した。	35	300 ~ 499
2	11~12	配達の為、配達先前にバイクを駐車しようとバイクを止めた。配達に向かう為、左側に降車しようとしたところサイドスタンドを掛けるのを忘れてしまい、バイクが左側に倒れ、自分も左側に転倒してしまった。転倒した際に車道と店舗の境の段差に左手をついてしまい、左手首を負傷した。	40	500 ~ 999
2	10~11	マンションのお客様宅に配達に伺ったが不在だったためそのまま箱を両手で持ちながら四輪車に戻ろうとしたところマンションの敷地内（タイル貼り）の部分（屋外）を歩いている際、雨で足元が濡れていたため足を滑らせ後ろ側へ転倒し背中を強打した。	40	500 ~ 999
2	10~11	配達先の玄関前にバイクを停車しようとブレーキを掛けたところ、側溝（金属製）の蓋で前タイヤがスリップして右側に転倒した。地面とバイクの間に右足を挟まれた。救急車で病院に搬送された。足首を脱臼、ステップでふくらはぎを損傷し3針縫った。朝から雨が降っていたため路面が滑りやすい状況であった。	37	100 ~ 299
2	11~12	二輪車で配達途中、配達のため停車しようとした際、サイドスタンドを左足で出したつもりだったが出でおらず、停車後そのまま左側へ倒れた。その時に左頬、左足脛を打撲し、頸椎捻挫と脳震盪を起こした。	51	100 ~ 299
2	16~17	お客様宅で1時間半正座をした後、立ち上がった足がしびれその場に転倒した。左足を骨折した。	62	50~ 99
3	20~21	配達のため配達先アパート2階通路を歩行中、配達先隣家の犬の鳴き声に驚き小走りになった際、通路上の段差に躓き転倒し、小指を骨折した。	55	100 ~

				299
3	16~17	お客様宅へ配達後、バイクに戻り発進しようとした際、砂利道で後輪がスリップして左側に倒れそうになったため、立て直そうとハンドルを右に切ったところ、バイクが右側に転倒し、被災者の右足がバイクの下敷きになった。その際、バイクのステップと路面の間に被災者の右踝がバイクごと挟まれる形となり、自力で歩行不能となり救急搬送され、右中足骨第1から第4骨折と診断された。	57	100 ~ 299
3	13~14	試合前の練習の様子を取材しようとピッチ内で三脚を持ちながら移動していた際に、段差に気づかず転倒し、左足アキレス腱を断裂した。	29	100 ~ 299
3	17~18	配達先敷地内で郵便受箱の前にバイクを止め、バイクにまたがったまま郵便物を入れようとしたところ、地面についた左足でバイクの重心を支えきれず、左下に倒れ込みバイクと地面に挟まれ、左足を負傷した。	19	100 ~ 299
3	16~17	被災者はサイドスタンドを出してバイクを路上に止め、徒歩で配達した後、バイクに乗り直進しようとし、バイクをきちんと直立させる前にバイクが斜めのままスロットルを開けて直進しようとしたため、バイクが左右に振られバランスを崩し、右側に転倒し受傷した。	54	100 ~ 299
3	17~18	2階フロアを通行している際に足元にあったケースに右足が躓き、転倒しそうになった際に右手を床についたところ、右腕を負傷した。なお、被災者は足元にケースがあることを認識していた。	65	500 ~ 999
3	14~15	集荷作業中、集荷物を台車に載せ、重かったためスロープを後ろ向きに下っていたとき、急角度のスロープで雨も降っていたため足を滑らせ転倒し、台車が20メートルほど滑落した。スロープ下に駐車していた車と衝突して止まったが、その際に車と台車に挟まれ、体を強く打った。	45	100 ~ 299
3	13~14	お客様宅に配達するため、隣接する道路に2輪を停車する際にタイヤが滑り、左側に転倒し、左足が挟まってしまった。	37	100 ~ 299
		配達中、砂利道にバイクを置いてポストに向かっていくとき、両足がつまずき前		500

3	12~13	方に転倒し、左膝を地面に打ちつけてしまった。	56	~ 999
3	15~16	配達のため社用バイクを止めようとサイドスタンドを立てたところ、不十分であったためバランスを崩し、右側に転倒し、右足を挟み、右足中足を骨折した。	43	50~ 99
3	13~14	お客様対応の際、両手で荷物を持っていたため足元が見えず、ケースにつまずき転倒をして右膝を骨折した。	53	100 ~ 299
3	16~17	業務に従事中、手すき時間を利用して片付けを行う為にロッカーへ行ったところ、足元に置いてあるさな板につまずき転倒し、全身を強打し、左三角骨を負傷した。	56	100 ~ 299
3	18~19	発着場入口付近で、郵便物の取り戻し請求書の写しを郵便取り揃え台に貼りつけようとした時に一部鉄板の床の部分があり、そこにおいている郵便物のケースにつまずき腕から転倒し骨折した。	31	100 ~ 299
3	15~16	配達後バイクに戻る途中の下り坂で、振り返った時に着地がうまくできずに足首を捻り、ひっくり返った。	0	50~ 99
3	15~16	自動二輪にて配達中にバイクから降車し、配達先に投函後、バイクに戻ろうとした際に玄関前で滑って転倒する。当日は雨が降っており、滑りやすい状況であった。	39	100 ~ 299
3	10~11	送金したあと、横断歩道を渡ろうとした際、段差につまずき転倒した。	45	100 ~ 299
4	20~ 21	12kg程度の重い荷物（飲料）を配達するため階段を一步上った瞬間に、お客様から急に声をかけられ、階段を下りるよう指示があったためすぐに下りようと右足を踏み出した際、捻った状態で着地し、そのまま転倒し負傷した（右足関節外側靭帯断裂）。	43	300 ~ 499
4	13~	タワーマンションメール室前通路にて、通常郵便物の入った袋を両手に持った状態で徒歩にて配達作業をしていた。床に段差は無く滑り易い路面では無いが、足	58	500 ~

	14	がもつれて転倒し、右大腿を強打した。その後引き続き配達作業をしていたところ、徐々に痛みが増し歩行困難となった。		999
4	11～ 12	通区訓練で移動する際、道路右側に止めていたバイクに乗ろうとサイドスタンドを上げバイクに跨がったが、道路が右に傾斜していたため、バランスを失い、右側に転倒し、縁石に右肩を打ち鎖骨を骨折した。	59	100 ～ 299
4	15～ 16	理容店へ配達後、次の配達先へ自動二輪で出発時に駐車場の車止めに気づかず、車止めに乗り上げてしまった。バランスを崩して右側へ転倒し、右足のかかとを車止めとバイクで挟み負傷した。	63	100 ～ 299
4	14～ 15	お客様窓口にて接客中、後方にある荷物を取ろうとしたところ、足元にあったゴミ箱につまずきそのまま転倒した。	37	100 ～ 299
5	16～ 17	地下駐車場にて、集配事務室に戻るためケースを両手に持ち、駐車スペースを横切ったところ、輪止めに躓き転倒し、右手首を捻挫した。	33	300 ～ 499
5	10～ 11	団地で配達中、集会ポストへ配達し、バイクまで戻ろうと段差を降りたところ、更に低い段差があることに気付かず、バランスを崩し転倒し、右足首を痛めた。	48	300 ～ 499
5	12～ 13	被災者は、配達先に配達物を届ける為徒歩で入口に入ったところフロアマットに躓き転倒し、右胸部を負傷した。	61	100 ～ 299
5	14～ 15	配達するため敷地内にバイクを停車し、エンジンを切った時にギヤを入れたままだったことに気が付き、エンジンを再始動するためサイドスタンドを立ててバイクに座りエンジンをかけた。その際に無意識にサイドスタンドを戻していたが、そのことを確認せず降りたため、バイクとともに左側へ転倒した。左足をバイクと地面（コンクリート）に挟まれ強打し骨折した。	50	500 ～ 999
5	12～ 13	午前中の配達を終えて、自転車で帰局しようとしたところ、雨で濡れていた、タイル状の地面の上で自転車がスリップして転倒した。その際、自転車の左足が挟	24	300 ～

		まれ、骨折・靭帯損傷し、歩行が出来なかった。		499
5	11～ 12	配達先にバイクを止め、徒歩で玄関左にあるポストに配達をするため4段の階段を上った。配達後に階段を降りて行く時、打ち水で濡れていた階段（4段目）で足が滑り転倒し、左足首関節を脱臼し、左腓骨及び左頸骨を骨折した。	52	100 ～ 299
5	19～ 20	ロールパレットケースを作業場へ移動させようとしたとき、区分済みの配達物が積載された台車があり、狭かったが奥からケースカートに乗ったロールパレットケースを置き場から移動させようとした。しかし手前の空のケースカートにロールパレットケースが当たり、空のケースカートが自分の足元に動きそれに躓き、体のバランスを崩し転倒した。	50	30～ 49
6	14～ 15	窓口事務室カウンターでお客さま対応中、後方キャビネットへ書類を取りに行こうとした際、OA機器接続ケーブルが外れていたため、右足をケーブルに引っかけて転倒し、負傷した。	56	100 ～ 299
6	11～ 12	発着口にて集荷終了後、軽四輪車のバックドアを閉めて、運転席に戻ろうとした時に転倒した際、左手から地面に手をつき体重を支えたため、左手首を負傷した。地面はコンクリートで、特に障害物等はない。	38	500 ～ 999
6	10～ 11	車、人がいない幅3mの舗装道において、訪問営業を終え、帰社するため自転車を運転中、見通しの良い直線道路（交通量なし）にて、閉じている傘を自転車車体に掛けていた。その後、振動等で傘が外れ、前タイヤスポークに挟まり、タイヤがロックして転倒した。道路に着地した際、左膝を強打し、受け身をとるため手をついた際に両手も負傷した。	42	1～9
6	12～ 13	配達のため駐車場内へ進入しようとして左折したところ、タイヤが滑り左側へ転倒した。その際、両手を地面につき、左膝を地面に打ちつけられ、転倒した二輪車のキャリアボックスが左膝の上にのしかかり、負傷した。	20	100 ～ 299
6	16～ 17	お客様宅へ配達をし、バイクに戻ろうとした時に、お客様宅門の前にあったマットに右足をとられ尻もちをついた。その際に腰に強い力がかかり、第十二胸骨を圧迫骨折した。	42	100 ～ 299
6	8～9	朝の通勤途上において、社員通用口外側階段を上る際、階段を踏み外して転倒	60	10～

		したものである。		29
6	10~ 11	配達のため機動車を停止させ、キャリーボックスから配達物を取り出そうとしたところ、直前に配達したお客さま宛の配達物をお渡ししていないことに気が付き、配達物を手に持ってお客さま宅に戻ろうとした。雨に濡れて滑りやすくなっている退避駐車スペースを小走りで横切った際、足が滑って転倒し、配達物を手に持っていたため受け身がとれず、背中から着地し、緊急搬送された。	46	500 ~ 999
6	11~ 12	当事者は県外から到着した航空コンテナを取り回し、荷物を供給する作業を行っていた。航空コンテナの向きを切り替えし、供給口に移動させようとしたコンテナを押した際、床が濡れているのに気付かず、力を入れた瞬間に足が滑り転倒した。その際に右肩を床に強打したことにより負傷した。	51	500 ~ 999
7	15~16	配達のため、上り坂途中にバイクを停車させようとまたがったまま車体を左側に傾けたところ、積載している郵便物の重量により転倒しそうになり、左足で踏ん張った際に左足を負傷した。	46	100 ~ 299
7	11~12	事故発生現場あての郵便物を配達し自動二輪車に乗った。自動二輪車に乗った後、スタンドを左足ではずそうとしたところ、足が引っ掛かった。足が引っ掛かり自動二輪車が左側に倒れてきたので右側に飛び跳ねた。飛び跳ねた際に右手で体を支えようとし右手のひら及び右肩を負傷した。	63	50~ 99
7	11~12	配達先にて段差のあるアプローチ部分（アスファルト）から左足を踏み外した。その時、痛みはあったが配達を続け、翌日、出勤後に痛みが酷くなった。	19	500 ~ 999
7	16~17	郵便物配達のため、配達先敷地内の郵便受け箱へ徒歩で向かう途中、駐車場内の車止めに気がつかずつまずき転倒した。転倒した際、路面で左膝を強打し負傷した。	46	100 ~ 299
7	16~17	交差点に向かって、涉外営業後、帰局しようとバイクで走行中、急な大雨に遭い、視界もあまりよくないところ、直進から右折レーンに入る車に気をとられたこともあり、ハンドル操作を誤り、濡れた路面の線上で、スリップして、転倒した。内務業務をしていたが、通院加療の経過が思わしくなく、3週間の休業加療との診断を受けた。	43	100 ~ 299

7	13~14	ビルの地下配達先に向かうため階段を下りたところ、足を踏み外し、階段に対して転倒し、その際に左足甲を骨折したもの。	33	300 ~ 499
7	9~10	組立済みの空パレットを移動しようとした際、たたんであったパレットが絡んでいたため、少し揺らして剥がそうとしたところ、たたんであったパレットが倒れてきたので、避けようとして尻もちをつく感じに転倒し、腰に激痛がはした。	47	1000 ~ 9999
7	20~21	お客さま宅へ荷物を配達するため、道路へ軽四輪車を止め、荷物を持ち徒歩で玄関へ向う途中、段差に躓き転倒し負傷した。	62	300 ~ 499
9	17~18	二輪車で配達中、林道の下り坂を走行した際、路面が砂利からコンクリート舗装に切り替わるところでバランスを崩し、道路の右側に二輪車が寄っていた。危険を感じブレーキをかけたところ、道路右端の路面には落ち葉や砂利があったため後輪がロックし、左側に転倒した。	52	100 ~ 299
9	19~20	ゆうパックの配達作業に従事中、配達を終え徒歩で車両に戻る際に、通路の段差につまずき転倒し右肩を負傷したもの。	60	300 ~ 499
9	15~16	郵便配達業務に従事中、配達先階段を上ろうとした際に左足を踏み外した。前のめりに倒れかかったため、咄嗟に右腕を出したところ、右腕が階段角部にあたり、手首付近を骨折した。発生原因は、階段を上ろうとした際に、足元の確認を疎かにしたことによるものである。	38	500 ~ 999
9	17~18	区分する区分機のレーン近くで、空のケースを運んでいた所、薄物を合わせて入れるため床に置いた別のケースに気付かず接触し転倒、アゴと膝を打った。	47	500 ~ 999
9	16~17	定形外郵便物約200通が入ったパレットケースを集荷し持って帰る際、1段の段差を踏み外し転倒し負傷した。	48	300 ~ 499
9	13~	屋外設置の簡易トイレから出ようとして、右足で段差を踏み外し、バランスを崩	43	30~

	14	して、右膝をついた時に右足甲の右側面を負傷した。		49
10	17～ 18	配達先のアパートにて階段を小走りで駆け下りたところ、階段中央にある踊り場部分でバランスを崩し、そのまま7段程駆け下り地面で転倒。その際、右肩と右膝を負傷した。その日は配送物も多く少々焦り気味であった。又、階段に外灯などは無く、辺りは暗かった。	64	300 ～ 499
10	12～ 13	道路を走行中、右折帯に入ろうと直進していたところ導流帯（中央分離帯の切れ目）で相手方車両がウインカーを出さず急にUターンを開始してきたので避けようとしたが、バイクの左ステップが相手方車両の右前タイヤに接触、転倒した。	54	100 ～ 299
10	11～ 12	社員はおお客様宅に小包を配達し、車に戻る途中、配達証を確認しながら歩いていたので、足元の溝に気付かず足をとられ転倒した。	57	300 ～ 499
10	13～ 14	バイクを降り、郵便受けに郵便物を配達後、バイクに戻る途中、側溝の段差に気づかずバランスを崩し、バイクのキャリーボックスにもたれかかるように転倒した。その際、右肩が外れるように捻ってしまい、右肩関節捻挫の負傷を負ったもの。	54	1000 ～ 9999
10	12～ 13	お客さま宅にはポストが設置されていないことから、玄関先まで乗り入れようとしたところ、折からの降雨もあり、お客さま宅敷地内のぬかるんだ地面に前輪をとられスリップし、体勢を立て直す間もなく左側へ転倒し負傷した。	62	300 ～ 499
10	16～ 17	お客様宅入口にあるポストに郵便物を投函し、バイクに乗車した。置き石の横で方向転換をしようとしたところ、ぬかるみで後輪がスリップし、左側へ転倒した。その際、車体と地面に足が挟まり動けずにいたが、住人の助けを受けて脱出できた。早くバイクを起こさなくてはと思いながらバイクを起こし始めたところ、ぬかるみに足を取られ転倒した際にブロックに腰を強打し負傷した。	54	300 ～ 499
10	13～ 14	社員は自動二輪で配達作業中、冠水した道路を迂回するため二輪車に乗車したままUターンした。その際後輪が道路脇の畑のぬかるみに出ていることに気付かないままアクセルを入れ、後輪が空回りし、車両が道路に対して横を向いた反動で、体が舗装された路面に投げ出され、路面に肩付近を打ち付けて右鎖骨を粉碎	47	100 ～ 299

		骨折した。		
10	19～ 20	配達先のアパートから階段を下りて自らのバイクに戻る際、前のめりで転倒し、右足くるぶしの靭帯を損傷した。ヘルメットにライトを装着していたが、周囲は暗く、足元が見えていなかった。	27	500～ 999
10	9～ 10	郵便局の2階から1階へ階段を小走りに下りてきて、左に曲がろうとしたところ、清掃員がモップで床を清掃中のため、階段の右側から行こうと体を回転させた時に、軸足にした左足が濡れた床で滑り、足首を捻りながら転倒した。	50	50～ 99
10	17～ 18	会議終了後、会議室出入口付近で、貧血により足を滑らせて頭部・臀部・大腿部を打撲した。	58	100～ 299
10	10～ 11	配達先のお客様宅前の階段を上る際、足全体で踏み込むつもりが左足つま先でしか階段にかからない状態で上がったため、足首に負担がかかり転倒し捻挫した。	30	100～ 299
10	15～ 16	小包集荷のため役所に入ろうとしたところ、入り口前の泥除けマットのたわみに右足をひっかけ、バランスを崩し、左足の方から転倒した。その際、左足の膝部を入り口前階段の1段目の角に激突させた。	31	100～ 299
10	19～ 20	配送にお伺いしたが、不在であったため、荷物を両手で持ったまま敷地外へ出ようとした際、夜間で足元が暗かったこともあり、階段を踏み外しバランスを崩して前のめりに転倒し、ひざを強打し負傷した。	48	100～ 299
11	17～ 18	日中の気温上昇で積雪が溶けたザクザク状態の路面を二輪車で走行中、T字交差点前で減速したところ雪にハンドルを取られ転倒した。左足が二輪車の下敷きになり、左足の甲を負傷した。	36	300～ 499
11	12～ 13	配達先の前で二輪車を止め、降りて一歩目が轍となっていて、足を取られて腰を捻った上に転倒し負傷した。一旦、職場に戻ってから受診した。	24	300～ 499
11	11～ 12	配達のため、徒歩でアパートに向かっていたところ、凍結路面で滑り、左足が取られて転倒しそうになり踏ん張った。転倒はしなかったものの、その際に左足首	39	500～

		辺りに痛みがあり病院を受診した。左足アキレス腱断裂と診断された。		999
11	9～ 10	可燃物収集作業中、車を降りる際、路面の段差部に足をついた時、右足根骨を骨折した。	35	100 ～ 299
11	16～ 17	当社資材置場において、トラック荷台から溶接機を降ろす際、荷台上で躓き転倒しコンクリート床へ左手をつき骨折した。（アングルに躓いた。本来2人作業であるところ、1人で行おうとして発生した。）	63	100 ～ 299
11	15～ 16	当局3階南側44番ホームと8番シュートとの間の通路付近において、北側より南側へLRB1台（実パレット）を搬送して、ホームへ並べようと向きを変えたところ、急に自分に向かって動き出したので後方へ転倒し、左足は伸び右足は曲がった状態で尻もち、伸びた左足脛にLRBが当たり負傷した。	69	1000 ～ 9999
11	11～ 12	配達作業中、グレーチングの上で滑り、右手をついた時に右手甲の骨にひびが入る怪我をした。	41	500 ～ 999
11	10～ 11	軽四輪で配達途中、配達先玄関の石段が凍結していたため、左端の氷と雪がある部分を上り玄関前に到着し配達を終え、乾いて安全に見えた左端から一段右足で下りたところ、足が滑りその場に転倒してしまった。転倒の際、右腕、肩、腰を強打し、右手首を骨折してしまった。	63	500 ～ 999
11	16～ 17	外務事務に従事中、荷物の配達のため、お客様宅前に軽四輪車を止め、玄関先へ向かう際、足場がぬかるんでいたため足をとられ転倒した。転倒した際、地面に右膝を強打した。痛みはあったがその日は病院へ行かず、翌日になっても痛みがあったため、後日病院を受診したものである。	37	100 ～ 299
11	20～ 21	配達時には段差があるのを認識していたが、配達完了後にエレベーターから降りた時には、段差があることを認識しておらず、また、その時掛けていた老眼鏡がずれていて足元が見えにくい状況にもかかわらず、自動ドアに向かって歩き出したため、段差に気が付かず、足を取られ、勢いよく壁に衝突して左肩を複雑骨折した。	57	100 ～ 299

11	16~ 17	当社自動二輪車で配達中、お客様の敷地から右折するために一旦停止して左右確認を行っていたところ、バイクのバランスが崩れ（少し下り坂）右足をついたが痛みがはしりバイクを支えきれず転倒し、右足がバイクに挟まれた状態になった。局に帰り転倒を報告し病院に行ったところ、捻挫と診断されたが後の検査で骨折と判明した。	31	100 ~ 299
12	7~8	当局1階郵便部において、10段積みのパレットケース2列を運搬しようとして、右手側は押し、左手側は引きながら動き始めたところ、左手側のケースカートの車輪の動きが悪く、パレットケースのバランスが崩れ倒れてきた。一瞬支えようとしたが支えきれず、はずみで自身も尻もちをつくように転倒し、左足首を大きく捻った。多少の痛みはあったものの業務を継続したが、痛みと腫れが大きくなってきたため病院を受診した。	62	500 ~ 999
12	8~9	勤務先近くの駐車場に自家用車を止め、徒歩で勤務先への出勤の途中、勤務先構内に入ったところで凍結した路面により転倒し、右足関節を骨折した。	57	100 ~ 299
12	16~17	局舎内の階段で1階から2階に移動中、躓いて前のめりになりそのまま転倒し、階段の角に右膝を強打し骨折した。	38	100 ~ 299
12	8~9	始業時の体操をしている時、意識がなくなり、前へ倒れて床に顎を強打し、顎に裂傷、歯に欠損を負った。抜糸後、歯のレントゲンを撮った時、顎の骨にヒビが入っている事がわかった。	52	300 ~ 499
12	13~14	配達中、アパートの2階から1階へ階段で下りる際に工事用の足場につまずき右足を強打した。	61	500 ~ 999
12	16~17	集配営業部事務室内の外務課長席付近に置かれた2段積みファイバー置台の横を歩いていたところ、2段積みファイバー置台が死角となって台車に積まれたカゴが見えなかったため、カゴに躓いて転倒し、右膝を床に打ちつけた。（配達物が入っていないか、ファイバーの中を確認しながら歩いていて、台車に積まれたカゴに気がつかず躓いて転倒した。）	63	300 ~ 499

12	15~16	配達業務に従事中、配達先アパート入口付近において、高さ20cm程度の段差につまずき、そのまま前方に膝から転倒した。両膝ともに負傷したが、特に右膝の負傷が大きく、翌日に整形外科を受診し、当面1ヶ月程度の局所安静及び病院加療を要する見込みである。	52	100 ~ 299
12	10~11	配達業務中に、バイクで停車中バランスを崩し、路面がぬれていたため足が滑って左側に倒れた。倒れた際に、左肩と肋骨を強打し、左肩と肋骨の骨折と診断された。	56	500 ~ 999
12	18~19	お客さま宅へ小包を配達するため、スロープを歩行していたとき、左へ曲がったところが凍っていた。足を滑らせ転倒し、左下腿骨を骨折した。	49	50~ 99
12	16~17	集荷先に向かって歩行中、道に窪みがあるのに気付かず右足が入り、バランスを崩して転倒した。その際、右手と右顔面を道にぶつけて怪我をした。	34	100 ~ 299
12	15~16	小包の配達中、配達を終えて敷地内から軽四に戻るときに、縁石に躓いて前方に転倒した。転倒した際に右手から地面につき、右腕を捻り、左膝を打撲し負傷した。	52	100 ~ 299
12	11~12	荷物の配達作業中、段差の多い下り坂を歩行中に転倒し、頭部を強く打ちつけた。	60	30~ 49
12	11~12	年末のためパレットや台車で非常に狭隘になっていた事務室で、小包を運ぶため細い通路を横向きで移動していた際、足元に放置されていた台車に躓き、左膝をつくような体勢で転倒した。	49	100 ~ 299
12	14~15	ワゴンセールシフトに入るため、1Fのフロアを歩行していたところ、転倒して左膝を骨折した。	65	100 ~ 299
12	12~13	配達先への配達を終え、徒歩にて下り道を下っていた際、足を滑らせ転倒し、右膝を強打した。大したことはないだろうと判断しそのまま業務を続けたが、腫れと痛みが引かず、骨折していた。	63	100 ~ 299
		客宅の敷地周辺に張ってあった網に、暗やみのため足を引っかけて、コンクリー		100

12	18~19	トの地面に膝から転倒して負傷した。	60	~
				299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html